

展覧会名：冬の華

会期：平成20年3月1日（土）～6月29日（日）

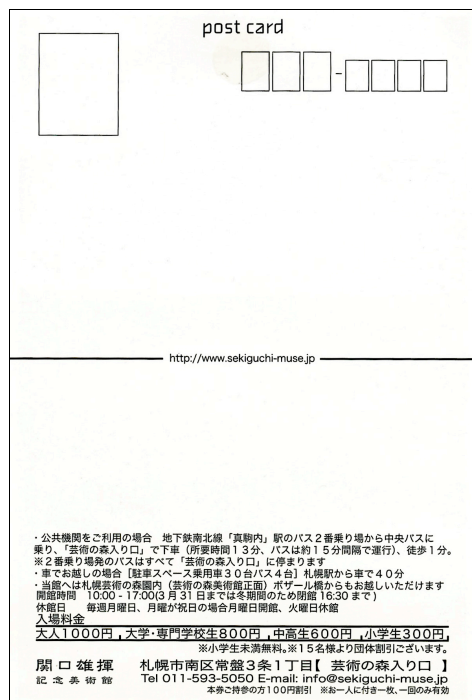
概要：1980年頃より関口の作品に表れてきた独特のモチーフにシシウドがある。シシウドとはセリ科の植物で、節くれだった太い茎の上に、お椀状に幾本もの細い枝を伸ばし、その先に白い小さな花を結ぶ。冬期に見られる立ち枯れた姿が印象的で、黒々とした昆虫の足が地面から突き出ているような、一種異様な光景を成す。

この独特の植物に、関口も心惹かれたようである。白い花が咲き誇る様子や、風になぎ倒されて地に横たわる様子、真っ白に霜をまといながらも凜として立つ様子など、様々な情景のなかでシシウドを描いている。あるいは枯れて、傷つきながらもまっすぐに立つその姿を、己の姿に重ね合わせていたのかもしれない。

本展ではシシウドを描いた作品を一堂に集め、関口がこのモチーフに託した思いを探りたい。



フライヤー表



フライヤー裏